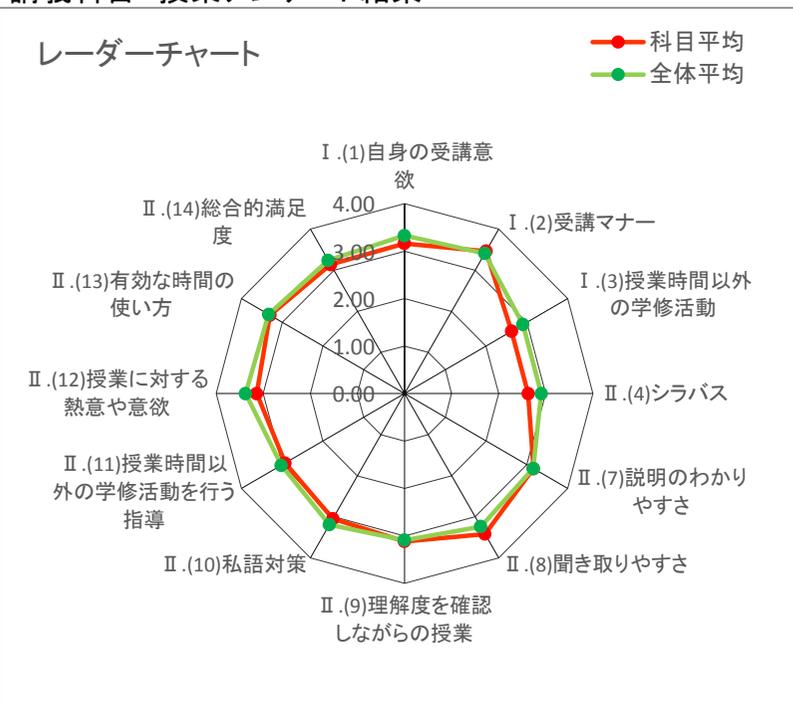
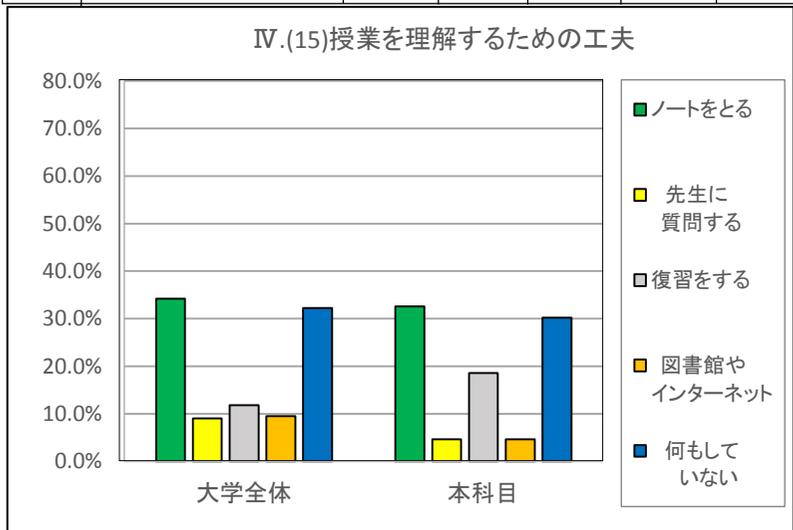


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	32.6%	4.7%	18.6%	4.7%	30.2%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.16	3.33
	I.(2)	3.47	3.41
	I.(3)	2.63	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.63	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.16	3.16
	II.(8)	3.42	3.24
	II.(9)	3.12	3.09
	II.(10)	3.05	3.19
	II.(11)	2.93	3.03
	II.(12)	3.14	3.38
	II.(13)	3.30	3.33
	満足度	II.(14)	3.14

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.09	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.09	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.14	3.24
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	22202
科目名	英会話Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について  
 講義は、シラバスに記載した計画通り漏れなく行った。前期、後期とも初回に授業計画の説明、評価方法の説明を行ったにも関わらず、その後も大半の学生がシラバスに目を通していないことに驚いた。教科書の難易度に関しては、全て英語で書かれた教科書を採用したため、戸惑う学生もいたようだった。また、英語に対し苦手意識を持つ学生にとっては、難易度が少し高いようだった。しかし、辞書を引く習慣作りや、語彙の増加、期末試験の結果を踏まえると、確実に学生の力になっていると思われる。

②授業の進め方について  
 講義冒頭には、単語テストと教科書を用いた復習で、学生が前回の講義の理解度を確認できるよう配慮した。講義中は、リスニング、ペアワーク、文法など、スピーキングを中心とし、4技能をバランスよく取り入れるよう心掛けた。しかし、会話、ペアワークの途中に日本語で話す、アクティビティーが終わっていないにも関わらず、私語をするといった姿が見受けられることもあった。1クラスあたりの人数が多いため、一人あたりの会話量を増やすためには、ペアワークを多くせざるを得ないが、それに比例し、私語が多かった点は、非常に残念だった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 学期の途中には、学生からの要望を取り入れ、関連する文法項目が入った英語の歌を教材として用いたり、絵本の日英比較を行うなど、「英語」という言語だけではなく、他国の文化に触れる機会を作った。また、アンケートで、学期中に扱った単語の一覧がほしいという要望を受け、学生が授業外で復習をできるようハンドアウトを作成する等配慮をした。学生とコミュニケーションを取りながら講義を進めることができた点は良かったと思う。改善可能な点としては、講義毎にペアワークの相手を変える等の工夫を行っていきたい。